



加納高だよ

No.185 令和6年7月5日
 発行 岐阜県立加納高等学校
 PTA会長 堀江 弘美
 校長 高橋 宗彦
 企画・編集 総務部



PTA会長
堀江 弘美

「PTA会員の皆様へ」

日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
 令和6年度PTA会長を務めさせていただきます堀江弘美と申します。
 1年間よろしくおねがいします。

加納高校PTAは生徒たちが「自主自律した豊かな個性」を身に着けて成長していけるよう最大限のサポートをしています。例えば、職業紹介冊子の作成、朝の登校指導、PTA研修会など会員のみなさまのご協力により活発に活動をしてきました。

しかし、近年PTAに関して様々な意見があります。私は、PTAという保護者の組織は、必要だと思っています。生徒たちが学校生活を楽しみ、夢を実現できる環境を整備するためには、学校と保護者の連携が不可欠だからです。とはいえ、そのあり方、活動の仕方は時代に合わせて変化していく必要があると思っています。今年は、今までの活動を継続しながら、未来に向けて見直しをしていく1年にしたいと思っています。会員のみなさまのご意見を参考にしながら、役員一同、知恵を出し合い、進めていきたいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

CONTENTS

- PTA会長あいさつ
- PTA執行部紹介
- 2年生普通科修学旅行
- 1年生校外研修
- 2年生音楽科、美術科校外研修
- 球技大会
- PTA大学見学会



会計監査 宇佐美 弓弦	会計監査 清水 泉	会計監査 古田 敦賢	音楽科後援会長 荒畑 哲夫	美術科後援会長 福田 由姫	3年学年委員長 番 由美子	2年学年委員長 大西 雅乃	1年学年委員長 堀井 友美
PTA副会長 和智 陽子	PTA副会長 佐藤 義人	PTA副会長 真鍋 覚	PTA会長 堀江 弘美	会 計 亀村 奈美	会 計 加藤 里栄	会 計 牧野 聖仁	



PTA 総会

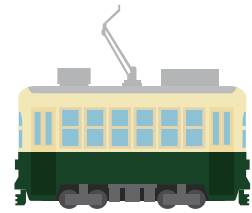
4月26日(金)に令和6年度PTA定期総会が開催され、平日にもかかわらず多くの保護者の方に出席していただきました。

総会前半では、令和5年度の事業報告・会計報告、令和6年度役員選出の後には、令和6年度の事業計画・予算について審議されました。

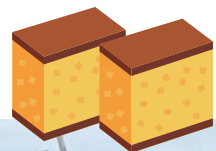
総会後は、学年研修会(普通科2・3年)・後援会総会(音楽科・美術科)・学級フォーラム(全学年)が行われました。



まず1日目、長崎原爆資料館で平和学習に臨みました。被爆体験講話と原爆資料で平和についてじっくり考えることができたので良かったです。胸が苦しくなることもあったし、終わった後は心が重くなってしまったけど、学校では学ぶことができないことを学べたので現地に行けてよかったなと思いました。2日目の長崎市内研修では、岐阜と違って坂が多くて急なこと、カステラの店が多いことに驚きました。歩き疲れたけど、珍しい路面電車や斜行エレベーターに乗ることができ、色んなカステラを見て回ることができて楽しかったです。グラバー園で班の子と一緒にハートの石を探したことも良い思い出になりました。ハウステンボスは夜のライトアップがすごく綺麗で可愛かったです。班の子と乗ったアトラクションもとても楽しかったです。全て回りきることができなかったのでまた行きたいです。3日目、4日も動物やレトロな街並みに癒されました。



今回の修学旅行は3泊4日と小・中学生のときよりも長い旅行だったけど、その分色々な経験ができて楽しかったし、思い出もたくさんできました。クラスの子や部活の子との仲も深まったと思います。同時に、家族のことを考えてお土産を選んだり、家族に見せるためにたくさん写真を撮ったり、3日目の夜に少し寂しくなったりと、自分の中の家族の存在の大きさを感じることができました。また、4日間集団行動をするなかで時間を守って行動する力もついたと思います。得るものがたくさんあった濃い4日間でした。これらの経験をこれからの生活にも生かしていきたいです。



校外研修 5/21

高山にて …………… 1年美術科 宇佐見 遥希

今回の校外研修では主に班別行動が中心で、これまでにあまり話したことのなかった仲間とも交流ができて、とても良い時間が過ごせた。街中を散策する中で仲間が集中して見る部分がそれぞれ違って面白かった。隅で流れる水や、並んでいる屋根やタイルの柄が気になる、



などと仲間が言っていて自分にはなかった視点を見つけることができた。美術科で課題だったスケッチを色々なところで試みて、同じような景色が並んでいると思っていた道も、立ち止まって描いてみるとそれぞれのお店などの特徴があって興味深かった。高山には今までに何回か行ったことがあったけれど今回はなんだか初めて見る景色が多かった気がする。



音楽科 大阪音楽大学 …… 2年音楽科 藤平 あかり

大阪音楽大学では過去から現代までの幅広い創造的な音楽が学べてとても感銘を受けました。特に総合芸術のひとつとなっているミュージカルコースの体験が強く印象に残りました。ミュージカルの発声の仕方、リズムに合わせた体の動かし方、体幹トレーニングなど、ミュージカルに必要な総合的な基礎力を身に付けることは難しかったですが、技術と想像力の楽しさが味わえる貴重な経験となりました。

また、クラリネットの専門合奏を聴講した時には、充実した指導と高度な技術や表現力を習得されている大学生のみなさんの音色に感動しました。そして何より合奏には「チームワーク」が大切だと改めて実感しました。他にも大学の図書館では豊富な資料や楽譜、そして楽器資料館では古楽器など充実した展示がありどれも興味深いものばかりでした。今回の研修を通して、今までよりさらに音楽の魅力を感じることができました。長い年月に渡って様々な形で受け継がれてきた音楽であるからこそ、音を楽しみ、人の心に届くような演奏ができるように日々努力していきたいです。



美術科 愛知県立芸術大学・名古屋市美術館・ギャラリー顕美子 …… 2年美術科 都竹 結衣

今回の研修で、愛知県立芸術大学、名古屋市美術館、ギャラリー顕美子に訪れました。愛知県芸には過去に2度行ったことがあります。今回、校舎の建築、立地にこめられた思いなどのお話を聞くことができとても面白かったです。教授が話されていたお話の中で特に「昔かっこいいと言われていたこの校舎が、今のバリアフリー化という視点で見るとあまりよいとはされない。」というお話が心に残っています。「求められるデザインは時代と共に変わり続ける。その中で、古いものを大切にしながら常に新しいものを取り入れていく。そこにデザインの価値がある。」とてもすてきな考え方に感動しました。

名古屋市美術館では、吉本作次さんの展覧会を見ってきました。吉本さんが絵を描いていく中でどう自分と向き合い、描きたい物を見つけていったのかがよく分かりました。



最初の作品と比べ最近の作品は線、色、描写など一つ一つが洗練されていてとてもかっこよかったです。

ギャラリー見学では、「ギャラリー顕美子」を訪問しました。その時は陶芸作家の笹山芳人さんが在廊をしていました。どれをとっても同じ形のものはなく、作品一つ一つが繊細でとてもかっこよかったです。

他にも、散策中にたくさんのギャラリーを見つけました。愛知県にも芸術にふれる機会がたくさんあることを知ったので、もっと積極的に足を運んで知見を増やしたいです。



球技大会 5/15水

3年2組 大島 優稀



「パンッ」というピストルの音と共に高校に入ってから5回目の球技大会が始まった。5回目といっても1年に2回しかないのではやはりワクワクするものだ。そんな貴重なイベントを最高に楽しむために、これまで少ない時間の中で積んできた練習の成果を活かすべくみんな一生懸命に頑張った。とは言っても時にはサーブが入らなかったり、チームの連携ミスが起こったりする。しかしひとたび点を取り返すと小学生のように喜び仲間とハイタッチする。そんな瞬間が僕はいちばん楽しかった。



4試合もあったのに言うまでもなくあっという間に終わってしまった。結果はさておき、僕たちが最高に楽しめたのは運営に携わっている方あってのものだと感謝の気持ちを忘れず、この日の絆を日々の学習に活かしていきたい。

大学見学会 6/10月

PTA副会長 和智 陽子



今年度のPTA大学見学会は、61名が参加し、南山大学と名古屋工業大学を訪問しました。南山大学は住宅地の山の上に位置し、自然豊かな中に美しいキャンパスが広がっていました。海外のサマーコースや短期留学などの様々なケースに対応するためにクォーター制（4学期制）を導入し、学びも留学もチャンスを見逃さず挑戦できる環境が整っていました。学生が質問に答えながら授業や学内を案内してくれ、学食でランチを頂きました。名古屋工業大学は鶴舞公園の隣に位置し、たくさんの自転車が止まっているのが印象的でした。説明では女子学生が17%と聞き、キャンパス内でも多く見かけました。また、加納高校卒業生で現在4年生の方のお話を聞くことができました。1～3年次までは5限まで授業を受講していましたが、最近では午前は自由時間、午後はゼミもしくは研究、夕方からバイトという一日の流れで、高校生のうちに英語と数学の実力をしっかり身につけたおかげで、大学でも英語の論文に対応できているそうです。高校生の皆さんはこれから進路を選択していきます。実際にキャンパスを訪れ、将来何を学びたいのか、自分の興味関心を探ってほしいです。保護者の皆さまには、お子さまの自主性を尊重しつつ、間違っただけで判断していないかを見守りながら、一緒に考える時間を持ち応援していきましょう。

